

『改造日報』、見つかる 【サマリー】

木村 実季

筆者は、菊地三郎先生(中日文化研究所創立者)の遺物整理を行う中で、菊地三郎先生が敗戦直後の上海で発行された邦字新聞『改造日報』の原紙178日分を保存していたことを知った。この『改造日報』の原紙は貴重な歴史資料だといえるが、本稿では、『改造日報』原紙の貴重性、そして菊地三郎先生と『改造日報』との関係について説明する。